

涼感みやざき



特集

五ヶ瀬町の「COOL CHOICE」の賛同者について紹介

活動レポート 平成28年度 宮崎県地球温暖化防止活動推進員実践研修

「伝える、伝わる、惹きつける」講師：木佐貫ひとみ氏

一歩いっぽ 推進員だより

米田 美由紀 さん (小林市)

実施報告『地球温暖化防止月間啓発イベント』開催

「ストップ温暖化！楽しく学ぼうおうちエコ」

環境省は、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」など、温暖化対策に資するあらゆる「COOL CHOICE(=賢い選択)」を促す国民運動を政府・自治体・NPO等と連携して、広く国民に呼びかけています。

五ヶ瀬町では、昨年10月に五ヶ瀬町役場から町内の事業所・団体・学校・町民等に対し、「COOL CHOICE」賛同の呼びかけが行われました。その結果、全行政区・学校・59の事業所等、約4,000名の方々に「COOL CHOICE」のご賛同をいただきました。

今回は、ご賛同いただいた一部企業、町民の方の取り組みについてご紹介します。

「COOL CHOICE」の企業賛同 真野建設株式会社

私達は、県、市町村が実施する公共工事など、建設工事の請負を行っています。また、地域環境を守る為に、ボランティアで学校の草刈や、道路の清掃活動も積極的に行っています。2011年11月30日には、「エコアクション21」※に認証・登録され、LED導入や省エネ製品の購入推進、使わない電気はブレーカーから落とすといった環境に配慮した行動に努めるよう、従業員教育も徹底して行っております。

今回、五ヶ瀬町役場からの「COOL CHOICE」の賛同の呼びかけを受け、普段から環境への取り組みを行っていることもあり、賛同に至りました。二酸化炭素削減の為、現場から出る廃棄物(廃材等)の再利用や燃料の削減に努めています。特に冬は、現場仕事で灯油を多く使用する為、暖かい格好を心掛けるなど、灯油や燃料を削減する工夫をしています。

今後は、「エコアクション21」の取り組みはもちろんですが、役場とも協力しながら環境活動に取り組みたいと思っています。



▲真野建設株式会社の皆さん



▲道路清掃のボランティアの様子

す。これからも地域環境を守る為に、一人ひとりが出来る事を意識し、事業活動の中で環境に配慮した行動に積極的に努め、地域社会に貢献します。

※エコアクション21とは、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組み仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が平成8年に策定したガイドラインのこと。



未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」の個人賛同 甲斐東一さん

私は、家族で地産地消を心がけ、旬の食材をおいしく調理し、小売店・食品販売・惣菜作りをしています。また、食品を取り扱う地域の企業として、周辺住民も利用するごみ集積所の管理、適切な分別方法などの呼びかけや手助けも行っています。

地域で「泉会」という団体をつくり、沿道のゴミ拾いや、生活道の草刈りなどのボランティア活動をしていたこともあり、普段から環境活動に関心を持っていました。今回、五ヶ瀬町役場からの呼びかけを受け、「COOL CHOICE」に賛同しました。

普段の生活の中でも、冷蔵庫の使い方や在庫管理を工夫することで、最後まで食材を使い切るなどの「食品ロス対策」も行っています。

私は、特別な環境活動を行っている訳ではありませんが、五ヶ瀬町の豊かな自然を後生まで残す為、自分自身の信念を持って行動しています。これからは、源流のある五ヶ瀬町だからこそ、植林をはじめとする森林資源の整備・保全・再生の重要性を訴え生態系の循環に関心を向け、きれいな水を生み出していこうと町民に呼びかけていきたいと考えています。また、継続的な環境活動を住民一丸となって取り組む為の原動力となるような次世代のリーダーを育成していきたいです。

これからも献立や量をお客さんの要望に合わせて提供し、お客さんのおいしい笑顔を作っていきます。五ヶ瀬町は自然に触れる体験がたくさんできるので、是非遊びに来てください。



▲津花食品 甲斐東一さん



▲甲斐さんが作っているお弁当



未来のために、いま選ぼう。

平成28年度 宮崎県地球温暖化防止活動推進員 実践研修

基調講演『伝える、伝わる、惹きつける』講師：木佐貫ひとみ氏

平成28年11月8日(火)に宮崎県立図書館、9日(水)に延岡保健所で『伝える、伝える、惹きつける』と題して、宮崎県地球温暖化防止活動推進員 実践研修を開催しました。

推進員の皆さまが地域で講座を行う際、受講者に分かりやすく伝える手段としてパソコンでの映像投影や、絵を使って説明出来る紙芝居などのツールを使用すると思います。しかし、それだけで安心していませんか？なんといっても一番大切なのは、話し方

です。ということで今回は、ラジオパーソナリティーとしても活躍されており、自然環境分野を得意とする木佐貫ひとみ氏を講師にお迎えして『伝える、伝わる、惹きつける』のテーマで基調講演を行っていただきました。皆さまは、「伝える」と「伝わる」の違い分かりますか？「伝える」は一方向で、相手が受け取ってくれないと双方向にはなりません。まずは、相手の立場に立って、話す内容を組み立て、どんな話し方、例え方ならより分かりやすいかを考えると、「伝わる」に繋がります。その為には、話す目的を明らかにして、伝える相手の年齢層やどんな集まりなのか等をリサーチすると良い話し方になるそうです。

次に、台本の準備です。台本に一字一句書いてしまうと読み上げてしまうので、箇条書きに留めます。(読まれた文章は心に届かないそうですよ。)

話す時のポイントは、つかみは最初の3分で決まります。先に結論を述べ、理由を説明します。また、自分の普段の声・息遣いで、後ろの席まで届く声でゆっくりと話します。(緊張するとつい早口になってしまうので、自分でもゆっくり過ぎるくらいの速度で話しましょう。)年齢層が様々な場合は、年齢が一番下の方に合わせて話をします。また、難しいことほど、ざっくり話します＝説明しすぎないのがポイント！！との事でした。

基調講演後は、推進員の皆様がすぐにでも実践できるよう、宮崎県地球温暖化防止活動推進センター(以下、センター)の楽しく学べる『STOP!おんだんかるた』ほか2種類のツールを使ったワークショップを2~3班に分かれて行いました。

今後、推進員活動を行う際は是非、今回の講演での木佐貫さんの言葉を思い出し、センターの様々なツールを活用して地球温暖化防止の周知を行っていただけたらと思います。

最後に、木佐貫さんが講演の中でおっしゃっていた『伝えるは伝えたら完了ですが、伝わるには伝えた後に続きがある！伝えた相手が何かしらのアクションを起こすことに繋がる工夫をしながら、惹きつけるキーワード、共感と“へー”“ほー”などの知る喜びを交えてお話しをする。』をセンタースタッフも皆さまと一緒に実践していきたいと思ひます。



講師：木佐貫ひとみ氏



一歩いっぽ 推進員だより



米田美由紀さん(小林市)

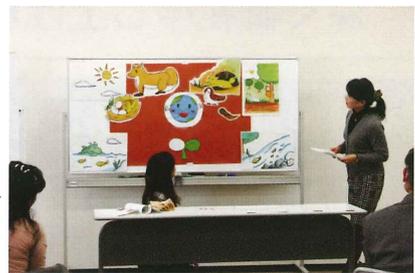
宮崎県地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)として活動して、4年目となります。推進員になったきっかけは、日南市から小林市への転入手続きの際、ゴミ分別の担当課に案内されるなど、小林市のゴミ分別の徹底化に驚いたことです。その後、ごみの分別等についてもっと詳しく知りたいと思い、知人と『小林地球温暖化防止活動会(旧:ECO社員ズ)』を見学しました。ゴミ以外の自分の知らない話を聞くことで、更に興味を持ち、会員になりました。その後、小林地球温暖化防止活動会の紹介で推進員になりました。

私がいつも心掛けている事は、エコバッグの活用やエコドライブ、ゴミ減量の調理法や必要以上に物を買わない等です。小林地球温暖化防止活動会や推進員に加わったことで、地球温暖化防止について意識が高まったと感じています。小林地球温暖化防止活動会では、様々な施設に出向き、風呂敷で帽子やエコバッグの作製をしています。また、エコの話を行うなどの啓発活動やマイクロバスを貸切り、バイオガスプラント等の工場見学とゴミ拾いなどのイベントも開催しています。イベントを通して一般参加者を募り、地球温暖化防止に関する賛同者を増やす活動も行っています。このような活動は、参加者への大きな意識付けにもなると思うので、継続していくことが大切だと感じています。

昨年は、地域の小学校のお祭りにおいて、ハンカチを利用した箸入れや自分で絵付けした世界に一つだけのエコバッグ作製と、宮崎県地球温暖化防止活動推進センターのツール『STOP!おんだんかるた』の体験を通して、小学生と保護者の方々に地球温暖化防止について伝える体験学習を行いました。今後もこのような活動で、小学校だけでなく公民館など、幅広く地域の特性にあわせて活動していけるように工夫していきたいです。



▶ 昨年、推進員さん数名と作成したツール、『いきものつながり』班の発表で、説明をしている米田さんの様子



イベント情報

【次世代エネルギー活用技術分科会 ～ 第5回 電力設備に関する技術セミナー～】

◆日時：平成29年2月14日(火) 14時から16時50分

◆会場：宮崎県工業技術センター 中研修室 (宮崎市佐土原町東上那珂16500-2)

◆内容：

《講演1》(14時10分～14時50分)「実系統における変圧器励磁突入電流対策の事例紹介」(仮題)

講師：株式会社興電舎 技術部 山村 俊一郎 氏

《講演2》(15時10分～15時50分)「降灰が太陽光発電システムにおよぼす影響」(仮題)

講師：宮崎大学 工学教育研究部 教授 西岡 賢祐 氏

《講演3》(15時50分～16時30分)「太陽電池モジュールの長期信頼性に関する研究」(仮題)

講師：佐賀県工業技術センター 材料環境部 副主査 河合 信次 氏

◆参加費：無料 ◆定員：50名

◆申し込み・問い合わせ先：

宮崎県工業技術センター 機械電子部 担当：鳥原(とりはら) (FAX:0985-74-4488/TEL:0985-74-4311)

※事前に氏名、会社名、連絡先をご記入の上、FAXにてお申し込みください。



イベント実施報告

地球温暖化防止月間啓発イベント ストップ温暖化！楽しく学ぼうおうちエコ

平成28年12月4日(日)にイオンモール宮崎1階ウエストコートにて、地球温暖化防止月間啓発イベント「ストップ温暖化！楽しく学ぼうおうちエコ」を開催しました。

イベントでは、エコバッグ、マイ箸入れ、防災スリッパの手作り体験を行い、多くの方にご参加いただきました。また、宮崎県地球温暖化防止活動推進員の方が身近なものを再利用して作製したエコグッズを展示しました。そして、県内企業の地球温暖化防止の取り組みを紹介したパネルも設置しました。その他、エコ博士の認定証がもらえるクイズラリーや、「STOP!おんだんかるた」の体験など、大人から子どもまで楽しんでいただけるイベントとなりました。



12月はクリスマスということで、クリスマスツリーの絵に「自分のできるエコ活動を書いたエコ宣言」を貼ってもらいました。43名の方にご参加いただき、大きなエコ宣言ツリーを完成させることができました。



イベント会場には、週末ということもあり、家族連れのお客様など、630名程のお客様にお越しいただき、大変賑わっていました。「からからつみき」コーナーは特に人気で、大人も子どもも夢中になって遊んでいました。



当日は、みやざき犬の「むうちゃん」や、宮崎市のご当地キャラクターのリサイクルマン、エコガルーが遊びに来てくれました。会場では、各コーナーの紹介を手伝ってくれたり、子ども達と楽しそうに遊んだりしていました。

また、むうちゃんは、「STOP!おんだんかるた」大会に参加し、会場を盛り上げてくれました。



ご協力いただきました関係者の皆様、当日お越しいただいた皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター通信「涼感みやざき」

発行：宮崎県地球温暖化防止活動推進センター (運営：特定非営利活動法人 宮崎文化本舗) / 編集：永田詩織

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス101号

電話：0985-60-3911 / ファックス：0985-89-4979 / メールアドレス：mccaoffice@mc3a.org

ホームページ：http://www.mc3a.org/